

中央小だより

子どもが生きる温かな学校
なかよく・かしこく・たくましく

URL : <http://www.town.tamamura.ed.jp/chuo-e>

E-mail: chuo-e@town.tamamura.ed.jp

◆ 交流活動で社会性や自己有用感を育みます

中央小学校では校内の学年同士、幼稚園や保育所、中学校などと様々な交流活動を行っています。

3月1日（水）には、玉村町立第5保育所、マーガレット幼稚園、にしきの保育園の園児・所児を招いて1年生と交流する「**なかよし交流会**」を行いました。

なかよし交流会は、来年度入学する子どもたちが、1年生と交流することを通して、入学への不安を減らし、入学を楽しみにする気持ちをもったり1年生が上級生となる自覚をもったりする機会とすることを目的としています。

当日は、体育館で最初に1年生による劇「かさじぞう」を観てもらいました。次に交流遊びとして、園児・所児が1年生とペアになってフラフープをバトン代わりにして行うリレーや猛獣狩りゲーム（指定された動物の名前の文字数でグループをつくる遊び）を楽しみました。

1年生はお兄さん、お姉さんとして園児や所児を一生懸命リードしていました。1年生の表情は自信や達成観が見え、自分自身の有用感を感じているように思いました。そして、体育館には子どもたちの笑顔や歓声が広がり、とても楽しい時間となりました。

交流会の終わりにはお互いに挨拶をしてさようならになりましたが、お互いに手を振ったり、タッチをしたり、ほほえましい姿が見られました。マーガレット幼稚園の園長先生からは子どもたちが小学校への入学を楽しみにしてる様子を聞き、「なかよし交流会」がとてもよい機会となってよかったですと思いました。



3月3日（金）に生活科の学習で2年生が1年生を招待して、自分たちで作製したおもちゃで遊んでもらう「**あそびランド**」を行いました。2年生は幾つかのグループに分かれて、それぞれのグループで担当するおもちゃの店を開き、訪れた1年生におもちゃの遊び方を説明したり、1年生の持っているカードに来店の印を押したりして、1つ上のお兄さんやお姉さんとして一生懸命に取り組んでいました。1年生もいろいろなお店を訪れ、楽しんでいました。



この他にも両中学校の職場体験学習を通して中学生と遊んだり、学習場面で支援を受けたり等の中学生との交流があります。また、校内での新体力テストで上級生が下級生の支援や記録をすること、学習場面での交流、縦割り班を中心に行うスマイルタイムや運動会種目等、様々な場面で学年を超えた交流活動を行っています。

このような交流活動を通して、人間関係づくりの基礎となる社会性や自分の価値を見だし、自分の良さを感じるといった自己有用感を育むことができます。

学校評価の結果をお知らせします No.4



今回はVI（進路・生き方）についてお知らせします。

よく当てはまる+だいたい当てはまる

評価対象	評価項目	保護者	児童
VI進路・生き方	18 お子さんと将来の夢や希望について、話し合っていますか。	71	
	あなたは、自分の将来の夢について家族で話をしたことがありますか。		70
	19 お子さんは、「自分が安心していられる場所がある。」「自分が好き」という気持ちを持っていますか。	85	
	あなたは、家族や自分自身のことを大切に思っていますか。		87
	<p>※「将来」について考える機会は高学年というイメージがあるように思いますが、具体的に将来を考える時につながるように「いろいろなことに関心を持つ」「人が働いている姿に触れる」「好きなことにしっかり取り組む」「人と協力して取り組み、達成感を味わう経験をする」「人の役に立つ喜びや気持ちの良さを感じる」といった体験が大切であると思います。学校でも発達段階に応じて、授業や地域の方々や事業所等のご協力をいただきながら、指導を行っています。ご家庭でも「夢や希望を育む」機会を捉えて、体験させていただいたり、話題にさせていただいたりできると良いと思います。学校だよりや学級通信にある情報などを話題にさせていただくことも良いと思います。ご活用ください。</p> <p>※「自分の良さ」「自分が人の役に立っている」という実感できる機会は豊かな心を育み、自分を伸ばす力になっています。学校では、当番や係・委員会など子どもたちが活動する機会を認め、称賛する場面と捉え、声をかけています。また、帰りの会では、仲間の良さを言葉にして伝えるような取組をしている学級もあります。学校だけでなく、ご家庭や地域で「良さ」や「人の為になっていること」を言葉にして伝えていただくと良いと思います。子どもたちの自信にもつながります。ご協力をお願いいたします。</p>		

地域の方々や施設等にお世話になっています

3月2日（木）に2年生は福島地区農地・水・環境保全会の皆様にお世話になり、かき菜の収穫体験をさせていただきました。2年生は幾つかのグループにわかれ、それぞれのグループに保全会の方がついて摘み方の指導をしていただき、子どもたちは袋いっぱい収穫をすることができました。貴重な体験の機会を与えていただき、収穫の喜びや達成感を味わうことができました。

また、地域の方とふれ合う機会であり、感謝の気持ちを育んだり、人と関わる良い学習場面となったりしています。



2月28日（火）に3年生は社会科の学習で玉村町文化センターで開催されている昔の道具展の見学を行いました。玉村町文化財係の職員の皆様にお世話になり、昔の道具だけでなく、古墳や玉村の歴史等についても説明していただき新しい発見をたくさんすることができました。



インフルエンザB型で欠席する児童が増えています

1月・2月はインフルエンザA型で多くの子どもたちが欠席となりました。2月後半には終息に向かい、インフルエンザによる欠席はほとんどなくなっていました。

しかし、今週に入って今度はインフルエンザB型による欠席者が増えてきています。まだ学校全体には広がっていませんが、さらに拡大しないよう予防に努めていきたいと思っています。

ご家庭でも再度、うがい・手洗い・マスクの着用・十分な睡眠をとる・不用意に人混みに出かけないなど、予防についてご協力をお願いいたします。

